

令和7年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～14
世界史	16～34
地理	36～55
政治・経済	56～71

4. 受験票を試験時間中は、机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

政治・経済

〔 I 〕 次の文は、日本における司法権の独立に関する記述である。これを読み、以下の問 1～問 6 に答えなさい。解答番号は ～

著作権上の都合により非公開

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切なものを、下記の語群からそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は ～

[語群]

- | | | |
|---------|------------|----------|
| ① 良心 | ② 国会 | ③ 天皇 |
| ④ 松本烝治 | ⑤ 裁判を受ける権利 | ⑥ 国民 |
| ⑦ 内閣 | ⑧ 裁判官の独立 | ⑨ 国民の信託 |
| ⑩ 懲戒請求権 | ⑪ 児島惟謙 | ⑫ 憲法の番人 |
| ⑬ 命令 | ⑭ 違憲審査権 | ⑮ 信仰 |
| ⑯ 叡慮 | ⑰ 石橋湛山 | ⑱ 犯罪者の更生 |
| ⑲ 統治行為論 | ⑳ 原敬 | |

問2 枠内のア・イは、文中の下線部 a に関する記述である。ア・イの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

著作権上の都合により非公開

- | | |
|-------|-----|
| ① ア：正 | イ：正 |
| ② ア：正 | イ：誤 |
| ③ ア：誤 | イ：正 |
| ④ ア：誤 | イ：誤 |

問3 文中の下線部bの事件において問題とされた国民審査の対象として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 衆議院議長
- ② 内閣総理大臣
- ③ 国家公安委員長
- ④ 最高裁判所裁判官

問4 文中の下線部cに関連して、各種下級裁判所に関する記述として適切でないものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 知的財産高等裁判所は、東京高等裁判所の支部として設置されている。
- ② 地方裁判所の第一審判決に対して高等裁判所へ上訴することを、上告という。
- ③ 裁判員裁判は、殺人などの重大な刑事事件が対象となり、地方裁判所でおこなわれる。
- ④ 家庭裁判所は、家事事件や少年事件を扱う裁判所である。

問5 文中の下線部dに関連して、この事件を研究した人物である家永三郎が原告となった裁判として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 小説『宴のあと』が、モデルになった人物のプライバシーを侵害しているかを争った事件。
- ② 教科書検定は「検閲」に当たり違憲であり、表現の自由・学問の自由を侵害するなどとして争った事件。
- ③ 入社試験で、学生運動などの経歴を隠していたとの理由で試用期間後の本採用を拒否された人が、思想・良心の自由の侵害だとして争った事件。
- ④ 薬局開設の許可基準として他店との距離制限を定める薬事法（当時）の規定が、職業選択の自由に反するとして争った事件。

問6 文中の下線部eに関連して、司法権の独立を保障するために憲法に規定された制度として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

10

- ① 裁判官の不逮捕特権
- ② 司法取引
- ③ 裁判官の身分保障
- ④ 国会に対する連帯責任

〔Ⅱ〕 次の文は、市場取引に関する記述である。これを読み、以下の問1～問6に答えなさい。解答番号は ～

著作権上の都合により非公開

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切なものを，下記の語群からそれぞれ一つ選び，マークしなさい。解答番号は ～

[語群]

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ① 自動決済機能 | ② 独占資本主義 | ③ ケインズ |
| ④ リスト | ⑤ 人々の道德感 | ⑥ 修正資本主義 |
| ⑦ トービン | ⑧ 新自由主義 | ⑨ 共産主義 |
| ⑩ リカード | ⑪ 民主主義 | ⑫ 見えざる手 |
| ⑬ 自然の摂理 | ⑭ 重商主義 | ⑮ 産業資本主義 |
| ⑯ 自動安定化機能 | ⑰ 自動決定機能 | ⑱ 国家社会主義 |
| ⑲ 神の手 | ⑳ 自動調節機能 | |

問2 文中の下線部 a にある空欄 ～ に入るものの組み合わせとして最も適切なものを，下記から一つ選び，マークしなさい。解答番号は

- | | | | |
|--------|------|------|------|
| ① ア：供給 | イ：需要 | ウ：供給 | エ：需要 |
| ② ア：需要 | イ：供給 | ウ：供給 | エ：需要 |
| ③ ア：供給 | イ：需要 | ウ：需要 | エ：供給 |
| ④ ア：需要 | イ：供給 | ウ：需要 | エ：供給 |

問3 文中の下線部 b に関する記述として最も適切なものを，下記から一つ選び，マークしなさい。解答番号は

- ① 完全競争市場では，売り手の代表者と買い手の代表者の交渉によって，最終的な価格が決定される。
- ② 完全競争市場においては，完全な情報を持つプライス・メーカーが，最適価格（管理価格）を決める。
- ③ 完全競争市場では，売り手も買い手も多数存在して，誰も価格支配力を持たない。
- ④ ある産業において完全競争市場が形成されるためには，その産業が費用逓減産業でなければならない。

問4 文中の下線部cに関する記述として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 資本主義経済の進展とともに、工場制機械工業は工場制手工業へと替わっていった。
- ② 18世紀後半にイギリスではじまった産業革命を経て、資本主義経済は確立した。
- ③ 資本主義経済では、すべての生産要素は政府の計画によって配分される。
- ④ 囲い込み（エンクロージャー）は賃金労働者の不足をもたらし、結果として資本主義経済の発展を促した。

問5 文中の下線部dに関連して、1980年代に日本でおこなわれた規制緩和や民営化の例として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 農業基本法の制定
- ② 大規模小売店舗法の廃止
- ③ 郵政三事業の民営化
- ④ 日本国有鉄道の民営化

問6 文中の下線部eに関連して、マルクスの著書として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 『資本主義と自由』
- ② 『資本論』
- ③ 『選択の自由』
- ④ 『経済発展の理論』

〔Ⅲ〕 次の文は、GDP（国内総生産）に関する記述である。これを読み、以下の問1～問6に答えなさい。解答番号は ～

著作権上の都合により非公開

（注：内閣府ホームページ『用語の解説（国民経済計算）』）

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切なものを、下記の語群からそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は ～

[語 群]

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| ① 中間生産物 | ② NI | ③ 産出 | ④ 経済変動 |
| ⑤ 輸入財 | ⑥ キチン | ⑦ 経済成長 | ⑧ GNI |
| ⑨ コンドラチェフ | ⑩ ジュグラー | ⑪ GDI | ⑫ 最終財 |
| ⑬ NNP | ⑭ クズネッツ | ⑮ 経済循環 | ⑯ 利潤 |
| ⑰ 固定資本減耗 | ⑱ 経済発展 | ⑲ 付加価値 | ⑳ 売り上げ |

問2 文中の下線部 a に関連して、2021年（暦年）の日本におけるGDP（名目値）の値として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 約550兆円
- ② 約650兆円
- ③ 約750兆円
- ④ 約850兆円

問3 文中の下線部 b に関連して、生産要素だけからなる組み合わせとして最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 消費，資本，土地
- ② 消費，土地，労働力
- ③ 資本，消費，労働力
- ④ 資本，土地，労働力

問4 文中の下線部cに関連して、経済に関係する数量は、フローとストックに分けられるが、それに関する記述として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① ある企業の毎年の利益額はストックである。
- ② ある企業が現在所有する生産設備の金額はフローである。
- ③ ある国のGDPはストックである。
- ④ ある国の国富の残高はストックである。

問5 文中の下線部dに関連して、GDPや国民所得が、生産、分配、支出から把握可能なことを意味する原則の名称として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 三面類似の原則
- ② 三面近似の原則
- ③ 三面等価の原則
- ④ 三面関係の原則

問6 文中の下線部eに関連して、景気の波を四つの局面に分けた場合、それら局面に関する記述として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 「好況」局面の最後に、景気の谷が現れる。
- ② 「好況」局面のあと「後退」局面が現れて「不況」局面となる。
- ③ 「不況」局面から「好況」局面に移るときを景気の山と呼ぶ。
- ④ 「不況」局面から短期間のうちに「好況」局面へ移ることを恐慌と呼ぶ。

〔Ⅳ〕次の文は、日本の雇用・労働問題に関する記述である。これを読み、以下の問
1～問6に答えなさい。解答番号は ～

著作権上の都合により非公開

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切なものを，下記の語群からそれぞれ一つ選び，マークしなさい。解答番号は ～

[語 群]

- | | | | |
|---------|----------|---------|--------|
| ① 職種 | ② 職階 | ③ 年齢 | ④ 企業 |
| ⑤ ショップ制 | ⑥ 春闘 | ⑦ あっせん | ⑧ メーカー |
| ⑨ 保険料率 | ⑩ ILO加盟率 | ⑪ 組織率 | ⑫ 廃業率 |
| ⑬ 週40時間 | ⑭ 裁量 | ⑮ フレックス | ⑯ リモート |
| ⑰ 派遣 | ⑱ 日雇い | ⑲ 請負 | ⑳ 臨時雇用 |

問2 文中の下線部 a に関連して、完全失業率（＝完全失業者数／（就業者数＋完全失業者数）、左目盛）、有効求人倍率（＝公共職業安定所に登録された求人数／求職者数、右目盛）はそれぞれ次の図の A～C のどれに対応するか。最も適切な組み合わせを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

著作権上の都合により非公開

（備考）独立行政法人労働政策研究・研修機構「早わかり グラフでみる長期労働統計」より作成。

- ① 完全失業率：A 有効求人倍率：B
- ② 完全失業率：A 有効求人倍率：C
- ③ 完全失業率：B 有効求人倍率：A
- ④ 完全失業率：B 有効求人倍率：C

問3 文中の下線部bに関する記述として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 労働者が労働組合に加入しないことを雇用条件とすることは、不当労働行為として禁止されている。
- ② 労働組合による争議行為が会社に甚大な損害を与えていても、使用者側がロックアウトで対抗することは不当労働行為として禁止されている。
- ③ 使用者側は労働組合の正当な活動を支援することが求められており、組合経費の一部を補助する責務を負っている。
- ④ 労働組合は使用者側と労働協約を結ぶことができるが、その内容が就業規則と異なる場合は就業規則が優先する。

問4 文中の下線部cに関連して、現行法における国家公務員の労働基本権（団結権、団体行動権（争議権）、団体交渉権）の保障の範囲と制限をまとめたのが次の表である。A、B、Cに入る基本権の組み合わせとして最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

著作権上の都合により非公開

- ① A：団結権 B：団体行動権 C：団体交渉権
- ② A：団体行動権 B：団結権 C：団体交渉権
- ③ A：団体行動権 B：団体交渉権 C：団結権
- ④ A：団体交渉権 B：団体行動権 C：団結権

問5 文中の下線部dに関する記述として最も適切なものを、下記から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

- ① 近年では、非正規雇用者の平均賃金は正規雇用者を上回って推移しており、中小企業を中心に経営上の大きな負担となっている。
- ② パートやアルバイトには最低賃金法は適用されないものの、最近は人手不足を反映して時給が上昇傾向にある。
- ③ 従来は個人事業主として扱われていたフリーランスは、2000年代以降、例外なく労働者として位置づけられ、メンバーシップ型雇用の中核を担っている。
- ④ パートタイム労働法は2008年に改正され、労働条件の文書化や正社員に転換するチャンスを与えることが義務化された。

問6 文中の下線部 e に関連して、次の図は2022年の日本、アメリカ、韓国、および1975年の日本における女性の労働力率を比較したものである。A～Dはこれらのうちどれに対応するか。最も適切な組み合わせを、下記から一つ選び、マークしなさい。

解答番号は

著作権上の都合により非公開

(備考) 独立行政法人労働政策研究・研修機構「早わかり グラフでみる長期労働統計」, 「データブック 国際労働比較」より作成。

- ① A : 日本 (1975年) B : 韓国 (2022年) C : 日本 (2022年)
D : アメリカ (2022年)
- ② A : アメリカ (2022年) B : 日本 (1975年) C : 日本 (2022年)
D : 韓国 (2022年)
- ③ A : 日本 (2022年) B : アメリカ (2022年) C : 日本 (1975年)
D : 韓国 (2022年)
- ④ A : アメリカ (2022年) B : 韓国 (2022年) C : 日本 (1975年)
D : 日本 (2022年)